



先日、東京都多摩市立連光寺小学校で、キュアテックス特別授業を行いました。

授業に招いてくださったのは、昨年同様、東京都多摩市立連光寺小学校の關口寿也校長先生。關口校長先生は、東京都小中学校環境教育研究会の会長も務めている、環境教育に対して熱心に取り組んでいる方です。

こちらの小学校では、6年生の総合学習で「SDGs」について学ぶそうで、その授業の一環として今回、弊社を特別講師としてお招きいただきました。

実は、キュアテックスとしては2回目の特別授業になります。

前回同様、授業は和紙繊維〈CURETEX®〉について、原料から製造工程まで弊社のこだわりのポイントや、和紙製品を使用することがどのようにサステナブルに繋がるか、などについてお話しさせていただきました。

和紙糸の製造工程や生分解性など専門的な言葉が多く、難しい内容もありましたが、SDGsに熱心に取り組まれている学校ということもあり、真剣な姿勢で授業を聞いていただきました。

授業を担当した私は、学生時代からアパレル関係に興味を持っており、アパレルのアルバイトを行っておりました。

しかし、アパレル業界の華やかな見た目の裏側には、地球に悪影響を及ぼしている現実があることを知りました。実際に着られなくなった衣類や製品にならなかった残布は焼却処分をしているため、二酸化炭素の排出量が問題視されているのです。

私の好きなアパレルは地球には優しくないことがわかりました。

しかし、地球に優しくないから好きなことを辞めてしまうのはとても悲しく、私は諦めきれませんでした。

「自分の好きなことをすることで、地球に優しいことに繋がる」ことが理想です。  
ではどうすれば、自分の好きなことが地球に優しいことに繋がるか、。

私が授業を通して伝えたかったことは、  
自分の好きなことが地球に優しいことに繋がるために「目」を養って欲しいということでした。

自分自身が何か始めるとき、購入するとき、手放すときなど様々な決断をするとき、  
「原料は何か?」「他の商品よりも安い理由は何か?」  
小さな疑問を持ってみてほしいです。

私自身も<CURETEX®>和紙繊維に出会い、  
自分の好きなアパレルを、地球に優しいものに変化させることができました。  
今すぐに、全てのものを地球に優しいもの、自然由来のものに変更する、ということは難しいと思います。  
しかし小さな疑問から、少しずつでも解決ができると思います。

この授業が、未来のサステナブル社会を担う子供たちにとって、  
今後、日々の決断をするときの軸を作る手助けとなれば、嬉しく思います。  
まずは小さな疑問から。その疑問を探す「目」を養うこと。  
私自身も様々な経験を積み、「目」を養っていこうと思います。

連光寺小学校の関口寿也校長先生、6年1組・2組の生徒のみなさん、本当にありがとうございました。